

平面構成

2、4、6、8、10階の**プライバシーが確保された住戸群をルーム層**、1、3、5、7、9階の**ガラスで仕切られた空間をグラスルーム層**と呼ぶ。

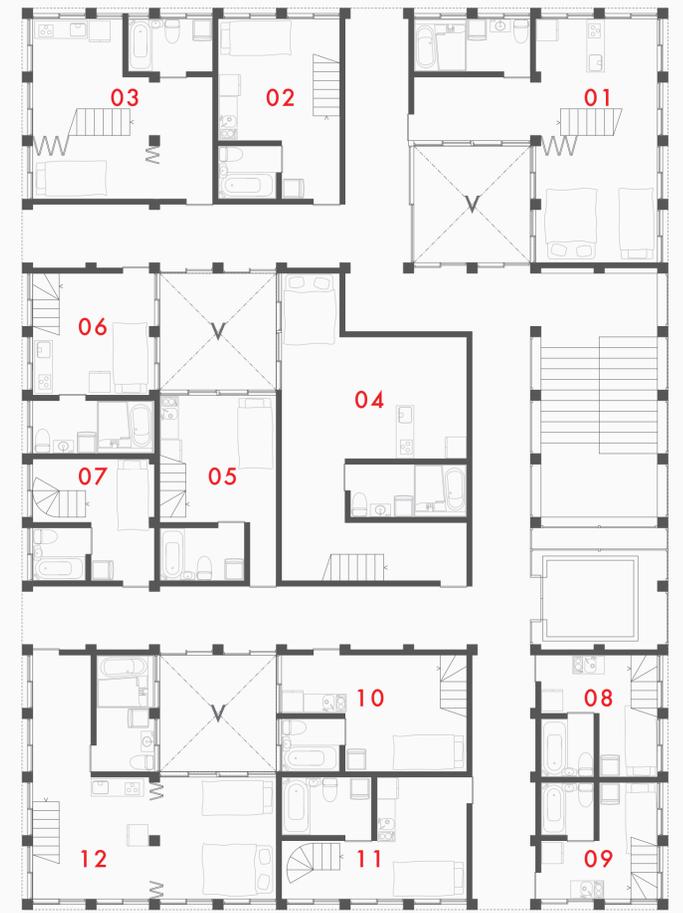
ルーム層は1.8mグリッド、グラスルーム層は3.6mグリッドで構成される。共用廊下はルーム層にあり、突き当たりは暗がりにならないよう、住戸の合間を縫って張り巡らされ、外縁まで到達する。所々でヴォイドにぶつかるため、そこからグラスルーム層が垣間見えるようになっている。また、平面中央の住戸はヴォイドを通して通風、採光を行う。基本的には、風呂、トイレ、キッチン、寝室といったインフラはルーム層に配されている。グラスルーム層は上下階を接続するコアとヴォイド、テラス以外は全て居室で満たされる。グリッドが延々と展開され、そのグリッドを1住戸につき1~3マス選び取るような計画になっている。**展開されるグリッドが可視化されることでどこまでが誰の部屋かわからない**ような、空間の広がり限定しない計画としている。

1階にはエントランス機能とテナントが入る。テナントについても住空間と同じような論理で構成されており、小さいスケールのテナントはテイクアウト専門であったり、個人経営の店などが入る。



- D: Dumpsite
- B: Bicycle parking lot
- W: Warehouse
- C: Caretaker's room
- S: Shop
- T: Terrace
- V: Void

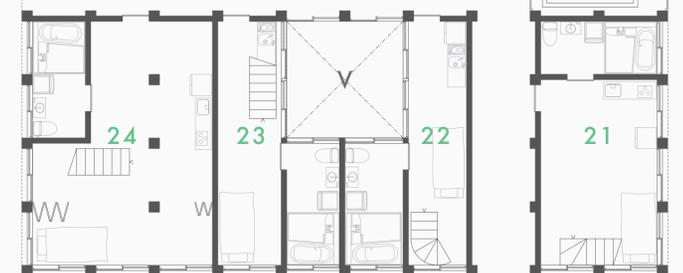
1F Plan



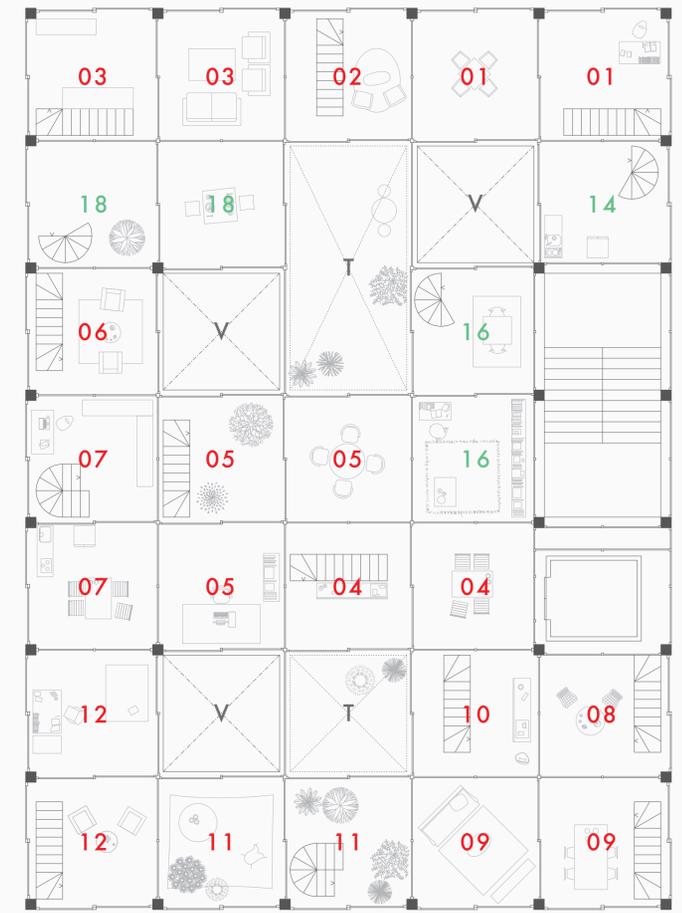
2F Plan



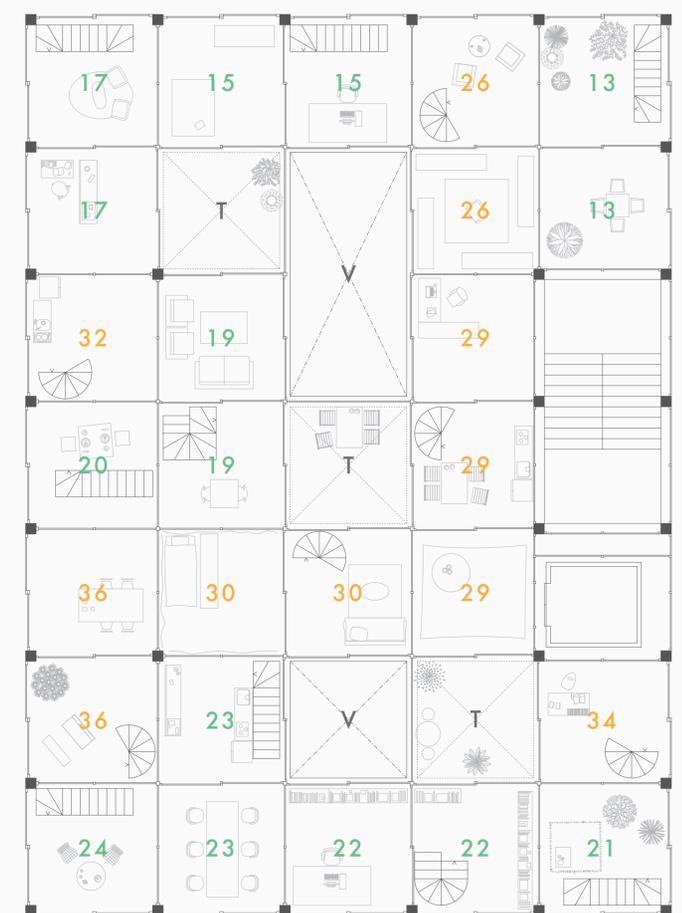
3F Plan



4F Plan



5F Plan



6F Plan